

手で読む 心でさわる  
やさしい点字 6

目の見えない人に光をともした  
ルイ・ブラaille



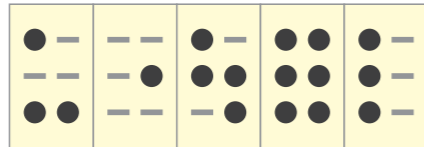
# 点字を

監修 日本点字委員会

生み出した人びと



## はじめに



点字は今から約200年前、ルイ・ブライユによってつくられました。これは、目の見えない人びとにとって、とても大きなできごとでした。

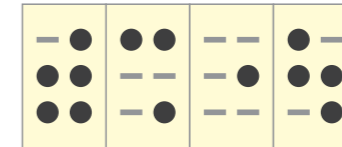
点字がつけられる前も、目の見えない人のための文字はありましたが、自由に読み書きするには難しいという欠点を持っていました。それに引きかえ、ブライユの点字は読み書きがしやすいため、目の見えない人びとに受け入れられ、やがて、世界中で使われるようになっていきます。

ブライユの点字をもとに、日本の点字をつくったのが、石川倉次です。倉次は試行錯誤をくり返しながらかえながら研究を続け、日本の点字を完成させます。そして、その点字が、今でも日本で広く使われているのです。

ブライユや石川倉次のほかにも、本間一夫・岩橋武夫・中村京太郎など多くの人びとが、点字図書館の設立、点字図書の出版、点字新聞の発行などの活動を通じて、日本に点字を広めていきました。

この本で紹介する人びとに共通しているのは、点字をつくったり、研究したり、広めたりするときの困難や苦勞にひるまず、ひたすら目の見えない人びとのために、一生をつくしてきたということです。そのひたむきな生涯を学ぶことが、点字へのより深い理解につながってくれることを期待しています。

## もくじ



ルイ・ブライユは 何をした人？	4
ブライユはどんな子どもだったの？	6
ブライユはどんな勉強をしたの？	8
王立盲学院は どのような学校？	10
王立盲学院の授業のようすは？	12
点字を考え出すヒントは何？	14
ブライユが考え出した点字とは？	16
点字がつけられる前に目の見えない人が使っていた文字	18
ブライユは卒業後何をしたの？	20
点字が認められなかったのはなぜ？	22
ブライユが他に考え出したのは？	24
ブライユの墓は なぜパリにある？	26
石川倉次は 何をした人？	28
倉次が最初につくった点字は？	30
倉次の点字はなぜ選ばれた？	32
倉次はどうやって点字を広めたの？	34
点字を広めた人びと① 本間一夫	36
点字を広めた人びと② 岩橋武夫	40
点字を広めた人びと③ 中村京太郎	43
点字を広めた人びと④ 鳥居篤治郎・⑤ 肥後基一	44
点字を広めた人びと⑥ 阿佐博・⑦ 木塚泰弘	45
本間は一触にしかず手でさわって、知って、楽しむ!!	46



# ルイ・ブライユは何をした人？

ルイ・ブライユは、約200年前にフランスで生まれたよ。  
小さい時に目が見えなくなってしまったけれど、がんばって、あることを成しとげたんだ。いったい、どんなことなのかな？

## 目が見えない人のための文字「点字」を考え出した

ジュースの自動販売機やエレベーターのボタン、かいたんの手すりなどに小さな点

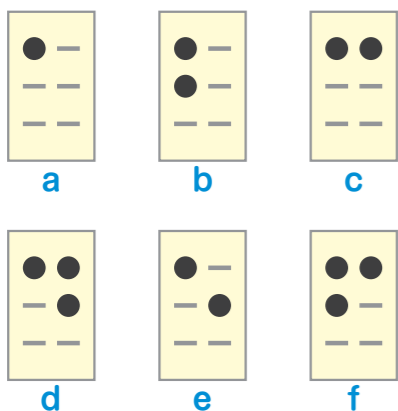
が並んでいるのを見たことはありませんか？

これは「点字」といって、目の見えない人が指先でさわって読むための文字です。  
ルイ・ブライユは目が見えないにも関わらず、いろいろな工夫を重ねて、現在使われている点字を考え出した人なのです。



©Rue des Archives / PPS通信社  
ルイ・ブライユ(1809年～1852年)

### ブライユがつくった点字



たて3点、横2列で合計6つの点を組み合わせ、さまざまな文字をあらわすことができます。

### まちの中の点字



自動販売機のレバーには「へんきゃく」、エレベーターのボタンには、それぞれ「うえ」「した」「8かい」と書かれています。

## 19世紀のはじめごろフランスで生まれる

ルイ・ブライユは1809年1月4日、フランスの首都パリから東に約40キロ離れたクーブレという小さな村で生まれました。

豊かな自然にめぐまれたクーブレ村は農業がさかんで、小麦などの穀物のほかに、ブドウの栽培もおこなわれていました。



ブライユが生まれた家は今は博物館になっていて、当時の暮らしを今に伝えているんだ。



200年も前の家が今も残っているなんて、すごいね。



ブライユが生まれた家

## ブライユが生きた時代

ブライユが生まれる少し前の1789年、フランスでは国王に対して人びとが暴動を起こし、議会による政治が始まりました（フランス革命）。19世紀はじめにはナポレオンという軍人が皇帝になって、まわりの国ぐにを支配しました。しかし、戦いに敗れ再び王政が始まりました。ブライユが生きていたのは、国のしくみがめまぐるしく変わった時代だったのです。

一方、そのころの日本は江戸時代で、町人の文化が栄え、浮世絵や歌舞伎が人気を集めていました。





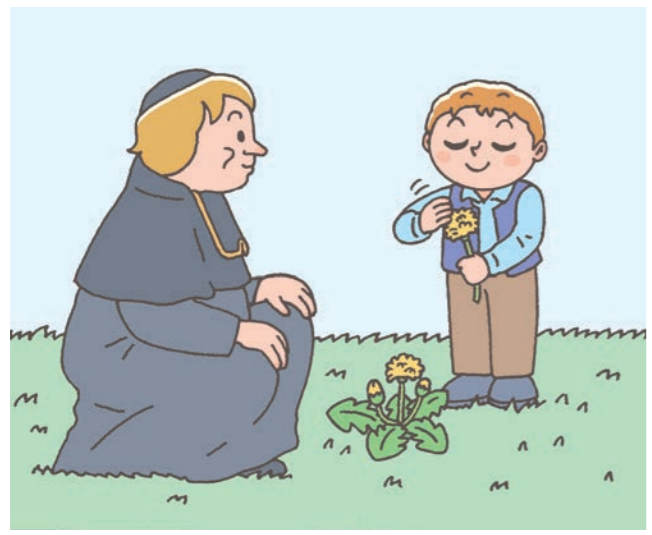
# ブライユはどんな勉強をしたの？

ブライユは好奇心がさかんな、かしこい子どもに育ったんだ。  
目が見えないのに、どうやって学んでいたのかな？

## 板に打ちつけたびょうで文字の形をおぼえた

ブライユの両親は、当時のフランスではめずらしく文字の読み書きができました。そのため、ブライユにもきちんとした教育を受けさせたいと考えていたそうです。お父さんは目の見えないブライユのために、木の板に文字の形になるようにびょうを打ちました。ブライユは、これをさわって文字をおぼえました。

これなら手でさわれば文字の形がすぐにわかるね！



パリュイ神父は教会だけでなく、自然の中でもさまざまなことを教えた。

## 教会の神父からいろいろなことを教わる

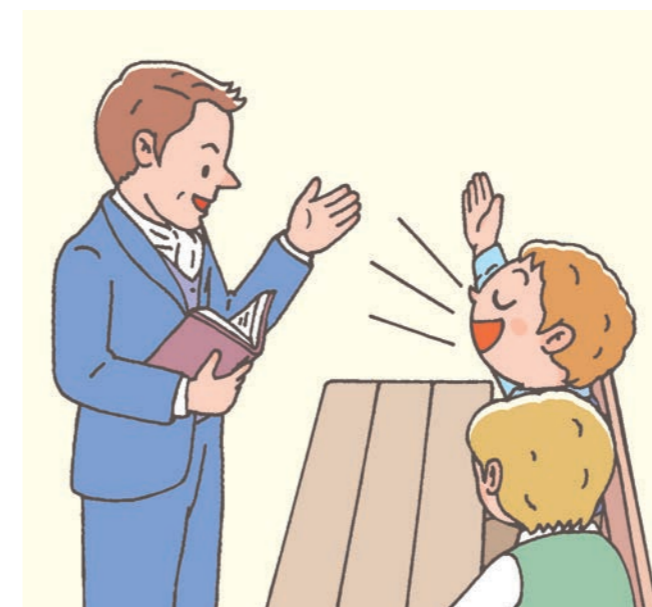
ブライユが6歳の時、クーブレ村にジャック・パリュイという神父がやってきました。パリュイ神父は、ブライユがとてもかしく、好奇心がおうせいなことを見ぬき、科学や歴史、聖書の物語など、さまざまなことを話して聞かせました。ブライユは、難しい内容の話でも、すぐに理解して、しっかりとおぼえていったそうです。

## 神父のすいせんで村の小学校に入学する

約1年間、ブライユを教えたパリュイ神父は、やはり正式な教育を受けさせることが必要だと考えました。当時、目の見えない子どもは、ふつうの小学校に入ることはありませんでしたが、神父は村の小学校の先生、アントワーヌ・ベシュレに相談し、ブライユの入学を認めてもらいました。



ブライユは毎朝、近くに住んでいる子に手を引いてもらって、小学校に通った。



## 学校一の優等生になったが勉強の教え方が変わってしまう

ブライユは、授業でノートをとることはできませんが、すぐれた記憶力で一度聞いたことは絶対に忘れませんでした。そのため、先生からの質問は全部答えられました。しかし、ブライユが2年生の時、授業の方法が「相互教育」という方法に変わります。ブライユは文字を読み書きできないため、この方法に慣れず、とまどいました。

## 「相互教育」とはどんな教育？

「相互教育」は先生の指導のもとで、生徒同士がたがいに教え合うというものでした。この方法だと、教科書を読んだり、文字を書くことができないブライユは、他の生徒に教えることができないので不都合でした。また、生徒の大半は夏の間、家の農業の手伝いで学校に来られないため、授業が成り立たなくなるおそれもありました。





ルイ・ブライユに関する年表



西暦年	年齢	ブライユの一生	フランスと日本のおもなできごと
1809	0歳	パリ郊外のクーブレ村で生まれる。	1804 ナポレオンが皇帝の位につく。
1812	3歳	父の仕事場でケガをして右目の視力を失う。	1812 ナポレオンがロシアに遠征する。
1814	5歳	左目の視力も低下し、両目の視力を失う。	1814 ナポレオンが追放される。
1815	6歳	ジャック・パリユイ神父の教育を受け始める。	1815 ナポレオン、ワーテルローの戦いで敗れる。
1816	7歳	クーブレ村の小学校に入学する。	
1819	10歳	パリの王立盲学院に入学する。	
1820	11歳	シャルル・バルビエが王立盲学院を訪れ、ソノグラフィ-を提案する。	
1821	12歳	ソノグラフィ-の改良に取り組み始める。	1821 伊能忠敬の日本地図が完成する。
1824	15歳	ソノグラフィ-を改良して6点字を考え出す。	
1825	16歳	6点字の基礎が完成する。	1825 外国船打払令が出される。
1828	19歳	盲学院の助教師に任命される。点字で楽譜を書く方法を研究し始める。	1828 シーボルト事件が起こる。
1829	20歳	『点を使って言葉、楽譜、簡単な歌を書く方法—盲人のために作られた盲人が使う本』を出版する。	1829 葛飾北斎の「富嶽三十六景」が出版される。
1831	22歳	父親のシモン=ルネが亡くなる。	1830 七月革命が起こる。
1833	24歳	盲学院の正教師に任命される。	1833 天保のききんが起こる。
1834	25歳	聖ニコラ・デ・シャン教会のオルガン奏者になる。点字楽譜の基礎となる音楽記号を完成させる。	
1835	26歳	肺結核にかかる。	
1836	27歳	盲学院のイギリス人生徒の願いで、点字に「W」を追加する。	1837 大塩平八郎の乱が起こる。
1839	30歳	デカポワンを発明する。	
1840	31歳	盲学院の校長デュフォーが楽譜以外の点字の使用を禁止。	
1841	32歳	友人のフーコーと共同でデカポワンを書く機械であるラフィグラフを発明する。	1841 天保の改革が始まる。
1843	34歳	体調が悪化したため、クーブレ村で療養する。	
1844	35歳	盲学院の新校舎落成式で、点字の読み書きの実演がおこなわれる。	
1847	38歳	再び、盲学院で授業をするようになる。	1848 二月革命が起こる。
1850	41歳	肺結核が悪化し、授業は音楽のみになる。	
1852	43歳	盲学院で亡くなる。遺体はクーブレ村にほうむられる。	1853 ペリーが浦賀に來航する。
1854		フランス政府が、点字を目の見えない人のための文字として正式に認める。	1854 日米和親条約が結ばれる。
1952		ブライユの遺骨がパリのパンテオンに移される。	

# ブライユの墓はなぜパリにある？

ブライユは43歳でその一生を終え、生まれ故郷にほうむられたよ。  
しかし、現在、ブライユの墓はパリにもあるんだ。どうしてなんだろう？

## 結核で亡くなり、生まれ故郷のクーブレ村にほうむられた

ブライユは26歳の時に結核にかかります。この病気はブライユの体力を少しずつばい、一時は故郷のクーブレ村にもどって療養したほどでした。

その後、盲学院の先生に復帰しましたが、健康が回復することはありませんでした。

そして1852年1月6日、ブライユは43歳という若さで亡くなり、その後、故郷のクーブレ村にほうむられたのです。

ブライユの葬式は1月8日におこなわれ、その後、盲学校から村に遺体に移されたそうだよ。



クーブレ村にあるブライユの墓。

©pixta

## 業績が認められ、死後100年後にパンテオンに移された

1854年、フランス政府はブライユの点字を正式に認めます。その後、点字はその使いやすさからヨーロッパ以外の国ぐにも広まり、ブライユの業績は世界中で認められていきました。そして、ブライユの死からちょうど100年にあたる1952年。フランス政府は、国の偉人をまつる施設パンテオンにブライユの遺骨を移したのです。

クーブレ村の人の願いで、両手の骨だけは村の墓に残ったんだって。



©Alamy / PPS通信社

パンテオンにあるブライユのひつぎ。パンテオンには『レ・ミゼラブル』の著者ヴィクトル・ユーゴーや、ノーベル賞を受賞した女性科学者マリー・キュリーなどもまつられている。



# いしかわくらじなにひと 石川倉次は何をした人？

ルイ・ブライユの点字は明治時代のはじめ、日本にも紹介されたよ。  
でも、ブライユの点字はアルファベットだから、そのままでは使えなかったんだ。  
そこで、石川倉次が工夫をして、日本語の点字が生まれたんだよ。

## ブライユの点字を日本語におきかえた「日本点字の父」

明治時代のはじめ、日本は外国の進んだ学問や技術をどんどん取り入れていました。また、体の不自由な人たちに対する考え方も伝わり、京都や東京には盲啞学校（目や耳が不自由な人の学校）がつけられました。東京盲啞学校の先生だった石川倉次は、校長の小西信八のたのみで、ブライユの点字を日本語におきかえることに工夫を重ね、日本の点字を完成させたのです。



いしかわくらじ (1859年~1944年) 石川倉次 (1859年~1944年)

## ぶしの子として浜松に生まれ、9歳の時に千葉に移る

石川倉次は1859年1月26日、現在の静岡県浜松市で生まれました。

父の石川専七は浜松藩につかえる武士でしたが、明治時代が始まった1868年、浜松藩の藩主が千葉県の鶴舞に移されたため、石川家も鶴舞に移り住むことになりました。

浜松から鶴舞へは、徒歩と馬で11日かかりましたが、倉次の母は体が弱かったため、困難な旅だったようです。



静岡県浜松市から千葉県原市の鶴舞までの距離は約300km。11日間の旅では、1日あたり約27kmを歩いたことになる。

## べんきょうにはげみ、そつぎょうご 勉強にはげみ、卒業後は16歳で助教師をつとめる

鶴舞に移った倉次は、鶴舞藩の藩校である克明館に入り、勉強を始めます。

1871年、倉次が12歳の時、廃藩置県がおこなわれ、父の専七が武士をやめ、仕事を失いました。次の年には藩校も廃止されます。1873年、倉次は新しくできた鶴舞小学校に入学し、勉強にはげみました。

そして、2年後に優秀な成績で卒業してからは、母校で助教師をつとめました。



藩校とは、武士の子どもたちが通う藩の学校のこと。倉次は藩校で漢学（中国の学問）や習字などを習った。



日本や世界のできごとを人びとに伝える新聞記者は、倉次にとって教員と同じくらい、それ以上に魅力のある仕事だった。

## いちじしんぶんきしゅ 一時は新聞記者をめざすも 教師の道を進むことに

やがて、倉次は正式な教師の資格を取り、水沼小学校ではたらき始めます。

その一方で、倉次は新聞記者になる夢も持っていました。2年ほどで小学校をやめた倉次は、友人と東京で新聞記者の仕事を探しますが、結局見つかりませんでした。倉次は、さらに教師としての勉強をするために千葉師範学校に入学します。

## はいはんちけん 廃藩置県って何？

石川倉次が小学校で学んでいたころ、世の中のしくみが大きく変わりつつありました。1871年におこなわれた廃藩置県という改革は、大名が治めてきた領地とそのしくみ（藩）を廃止するかわりに、「県」や「府」を置くというものでした。新しい政府の役人が地方を治めるようになり、大名や藩のような武士の古いしくみを改めようとしていたのです。





点字を  
広めた人びと  
2

日本で初めてライトハウスをつくり、  
ヘレン・ケラーを日本にまねく



いわはし 岩橋 武夫

(1898年～1954年)

岩橋武夫と日本ライトハウス

岩橋武夫は、日本で初めて「ライトハウス」をつくった人です。

ライトハウスは、アメリカのマザー女史が1915年、「盲人の幸福」の実現を目的に始めた世界的な運動です。

岩橋は、自分の目が見えなくなったことを「使命」と受けとめて、ライトハウスをつくり、目の見えない人びとの生活、文化、職業における幸福の実現に56年の生涯をささげました。



日本ライトハウスの創設者・岩橋武夫。

ライトハウスができるまで

岩橋は大阪で生まれ、早稲田大学に進みましたが、19歳の時、病気で目が見えなくなりました。生きる意味を見失い、自殺しようとしたが、母親の深い愛に打たれて、生き直すことを決意。盲学校で点字を学び、1922年、目の見えない人びとに世界の扉を開くため、世界共通語「エスペラント」の辞書を点字出版しました。これが、日本ライトハウスの出発点となりました。



ライトハウスを始めたアメリカのマザー女史。ライトハウスは、英語で「灯台」という意味。目の不自由な人に希望のともしびを灯したいという願いがこめられている。

マザー女史と出会い、  
ライトハウスを開館

岩橋はイギリスに留学後、関西学院で英文学を教え、本間一夫（36ページ）など多くの目の見えない学生を育てました。

そして、マザー女史と出会って、ライトハウスをつくることを志し、1935年、大阪にライトハウス会館を建設。点訳奉仕活動（4巻17ページ）と点字図書の出始め、生活相談、点字・教養講習会、点字出版、職業訓練などの事業を展開しました。



中央が岩橋武夫とヘレン。一番左は岩橋の妻・岩橋キヨ、一番右は通訳としてヘレンに同行し、活動をささえたポリー・トムソン。



1948年、ヘレン・ケラーの講演会が東京の皇居前広場でおこなわれた。ヘレンは、このときが2度目の来日で、1955年、岩橋が亡くなった直後には、3度目の来日をはたしている。



ライトハウスの開館当時に使われた点字製版機（左）と点字印刷機（右）。



岩橋がつくったライトハウス会館の室内。

ヘレン・ケラーと  
深い友情で結ばれる

岩橋は1934年、アメリカで、目が見えず、耳が聞こえず、話せないという3重の障害を乗り越えて、社会改革に取り組んだヘレン・ケラー女史と出会い、深い友情で結ばれました。

ヘレンは、太平洋戦争前後の1937年と1948年に来日。ふたりは世界平和を願い、障害者への理解と支援をうたえて、日本全国（戦前は朝鮮、中国でも）で講演活動をおこないました。これにより、1949年に身体障害者福祉法が制定されました。



# 点字をさわってみよう



五十音 基本は母音+子音					
ア行	あ	い	う	え	お
カ行	か	き	く	け	こ
サ行	さ	し	す	せ	そ
タ行	た	ち	つ	て	と
ナ行	な	に	ぬ	ね	の
ハ行	は	ひ	ふ	へ	ほ
マ行	ま	み	む	め	も
ヤ行	や		ゆ		よ
ラ行	ら	り	る	れ	ろ
ワ行	わ				を
はつ音符	ん				

だく音 前に  をつける					
が	ぎ	ぐ	げ	ご	
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	
だ	ぢ	づ	で	ど	
ば	び	ぶ	べ	ぼ	
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	

よう音 前に  をつける		
きゃ	きゅ	きょ
しゃ	しゅ	しょ
ちゃ	ちゅ	ちょ
ひゃ	ひゅ	ひょ
みゃ	みゅ	みょ
りゃ	りゅ	りょ

ようだく音 前に  をつける		
ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
じゃ	じゅ	じょ
ぢゃ	ぢゅ	ぢょ
びゃ	びゅ	びょ
ぴゃ	ぴゅ	ぴょ

とくしゅ音							
ウィ	ウエ	ウオ	ヴ	ヴァ	ヴィ	ヴェ	ヴォ
クア	クイ	クエ	クオ	グア	グイ	グエ	グオ
スイ	ズイ	ツア	ツイ	ツエ	ツオ		
ティ	デイ	テュ	デュ	トゥ	ドゥ		
ファ	フィ	フェ	フォ	フュ	フョ	ヴュ	ヴョ
イエ	キエ	シエ	ジエ	チエ	ニエ	ヒエ	

アルファベット									
前に外文字符  をつける					大文字は文字の前に大文字符  をつける				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	
j	k	l	m	n	o	p	q	r	
s	t	u	v	w	x	y	z		

促音符	長音符
っ	ー

数字 前に数字符  をつける									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

記号・符号										
句点	読点	感嘆符	疑問符	中点	波線	棒線	点線	かぎ	二重かぎ	まるカッコ

数字や数式で使う記号					
加号	減号	乗号	除号	等号	小数点

- 手で読む 心でさわる  
やさしい点字
- 全6巻  
監修/日本点字委員会
- 点字を読んでみよう
  - 点字を書いてみよう
  - 点字をさがしてみよう
  - 点字をささえる人びと
  - 点字を必要とする人びと
  - 点字を生み出した人びと

